

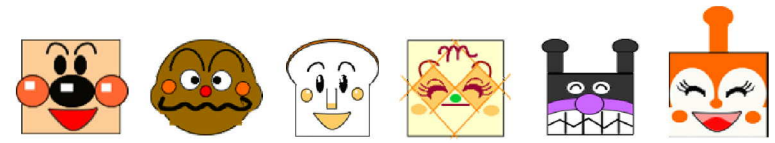


<第132回 ほほえみの会 >
新しい方4人を含めて9人の参加でした。

- ▽ 6歳男の子、急性リンパ性白血病。風邪だと思い病院にかかったが顔色が悪く血液検査をして病気が発覚。病気が早い段階ですぐにわかったのはよかったがショック。これから治療を始める。
- ▽ 3歳男の子、急性リンパ性白血病。発熱があり足にあざができた。7月に出産予定で甘えていると思った。顔色が悪いので病院に行き血液検査、数値が非常に悪くそのまま救急車でこども病院に。出産も控え心配だが、治療率が高いことや外泊も多いと聞いて少し気が楽になった。
- ▽ 12歳女の子、急性リンパ性白血病。1年前に足が痛いというので整形外科で診てもらったところ成長痛だという。1ヵ月後にまた痛みとだるさを訴えて寝込むようになったため病院で血液検査をして病気がわかる。こども病院で治療を始めて1年、ほぼ順調に経過しており今は1ヶ月に5日の入院。今年は学校のキャンプに行きたいと言っている。子供が前向きに頑張っているので親も頑張らないといけない。親の方が励まされている。
- ▽ 5歳女の子、急性リンパ性白血病。2月末から治療を始め寛解を迎えたので家に帰ることができた。子どものストレスが解消した。家だと急に具合が悪くなった時に心配。発熱の時に救急に電話したら熱を下げてください、でも下げすぎないで下さいと言われた。どうしたらいいかわからない。熱は1～2度下げるだけで体は楽になる。脇や足の付け根を冷やす。ビニール袋に水を入れて氷を2～3個入れる程度で十分とのこと。

次回は 7月9日(日) 11時から総会です

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560
E-mailアドレス k_likeda@yahoo.co.jp
ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>



静岡県立こども病院 血液腫瘍科 親の会

ほほえみの会 総会

日時:2006年7月9日(日)11時～13時

場所:新館3階 教室

内容:○ 2005年度活動報告・会計報告

○ 2006年度役員選出

○ 血液検査結果の見方について
毎回気になる血液検査結果、数値の意味や見方を解説していただきます

○ 特別講演

「小児がん経験者の晩期障害」

講師 浜松医科大学 小児科
岡田 周一 先生



小児がんの治癒率が上がったことで治療が終わった後の障害も気になります。具体的な例も含めて気をつけることなどを話し頂きます。

* お子様はボランティアの方が面倒を見てくれます。
軽食も用意してあります。お気軽にご参加ください。



お問い合わせ ほほえみの会 代表 池田 054-247-9560